

お客様のご評価 【特別オーダーケーブル(ヘッドホン用)】



まず外観について、

今回は非常に太い線を採用しているため、アンプ側・ヘッドホン側プラグや分岐点の部品の作製に苦労されたと聞いています。時間はかかりましたが、十分なクオリティに仕上がっていると思います。

また、京都西陣絹編みの外装に関しては、私の希望の「ダークブラウンの落ち着いた色で、300 シリーズに近いもの」の通りとなり、感動しております。

何度も打ち合わせを重ね、写真をいくつも送っていただいて、悩んだ甲斐がありました。

下手に派手でなく安っぽくなく、かつつまらなくもなく、上品なケーブルになったと感じております。

最後まで悩ませたヘッドホン側プラグですが、特殊なヘッドホン側ジャックに合わせて最終的には特注でピッタリのものを作っていた結果、

端子間ショートもなく、カチッと嵌って取り外し時もきちんと抵抗感があり、文句なしの出来となりました。

プラグの無骨なデザインも私の好みに合っています。

肝心の音質はどうかというと、

純正ケーブルや他のケーブルと比較してまず思うのは、一言で言えば「強い実体感」です。

受け取り時にカフェで試聴した際は、低域が強めのバランスで、全体的に刺激の少ない柔らかな印象でしたが、

自宅でのその時のシステムを再現してみたところ、あれはおそらくシステムが若干低域寄りで、

かつ周囲の喧騒が高域をややマスクしていたからだと推測しています。

(当時の比較対象のケーブルが高域寄りで音場が広く、中高域がかなりスッキリしたものだっただけでも理由の一つと考えられます。)

自宅の据え置きシステムにおいては、今回のケーブルは全体的にクッキリとしたリアリティのある音という印象です。

下から上まで高い密度でエネルギーに聞こえますが、キツさを感じることはないですし、高域の繊細さが潰れることもありません。

まさに、NIDEON ケーブルとしてこういう傾向の音になるだろうと想像していた通りでした。

抑揚があり表情が豊かであるとも言えます。他のケーブルに変えると、音がどこか平坦に聞こえてしまいます。

また、ヘッドホンの得意とするジャンルがやや広がったようにも思えました。

このヘッドホンは正直、低域に迫力のある曲はあまり合わないと思っていましたが、このケーブルを使用するとそうも思えなくなってくるのです。

加えて、特に中域あたりの音に広がりがあり、余裕が感じられます。

全体の左右方向の音場はそこそこの広さ(純正ケーブルよりは広い)ですが、その分、音像がより明確であり、「本物を聴いている」という感覚が得られます。

その他の寸感としては、

中～高域の解像度が高く、繊細な表現を得意としつつも勢いを殺さず、貧弱になりません。

特にアコースティックギターやボーカルがとても生々しく聞こえます。

これらは何かを取り立てて強調しているわけではなく、全体的に質が高いレベルにありながら中庸であるという認識です。

以上、取り留めもなく感想をしたためましたが、

結論として、私の期待の延長線上にある素晴らしいケーブルであることが確認できました。

比較試聴中は聴きながらつい笑みが浮かんでしまいました。

手持ちの他のケーブルとは全く異なる音色であるため使い分けも利きますし、

NIDEON さんをお願いして良かったと心から思っています。